市制施行25周年記念

玉名

たまな

昭和54年4月　熊本県玉名市

玉名市民憲章

一、わたくしたち　玉名市民は
澄んだ空気ときれいな水と
緑あふれる　恵まれた郷土
玉名市の自然を大切にします

一、わたくしたち　玉名市民は
古い歴史をたたえ　若い力を育て
文化のかおる郷土
玉名市をつくります

一、わたくしたち　玉名市民は
仕事によろこびをもち　生産を高め
豊かな郷土　玉名市をつくります

一、わたくしたち　玉名市民は
きまりを守り　あたたかい心で
人に接し　住みよい郷土
玉名市をつくります

一、わたくしたち　玉名市民は
教育を重んじ　教養を高め
視野を広くし　伸びゆく郷土
玉名市をつくります

（昭和四十九年制定）

玉名市歌

一、小岱の　山むらさきに
広々と　沃野のみどり
天地の　めぐみあつめて
光りみつ　若き我が市よ
燦爛と　歴史かがやく
ああ玉名　讃えよその名

二、ゆたかなる　菊池のながれ
潮騒の　歌呼ぶほとり
野に山に　幸はあふれて
潑剌と　興る我が市よ
産業の　力脈打つ
ああ玉名　謳えよその名

三、ふるさとは　花もかおりて
観光の　夢呼ぶところ
ほのぼのと　湯の香ただよい
文化また　みのる我が市よ
躍進の　意気に燃えたつ
ああ玉名　誇れよその名

辰巳利郎　作詞
梅沢信一　作曲

沿革

玉名の歴史は古く縄文時代から天恵の地として知られ、弥生時代になるとはやくも大陸と交流をもち、下って古墳時代には、華麗な副葬品と共に、日本最古の漢字が彫まれてある銀象眼の太刀で有名な舟山古墳をはじめ、船型石棺（院塚古墳）や装飾古墳（ナギノ横穴群）を多数のこし、考古学上貴重な遺跡が豊富である。その後、当地方を玉杵名と呼び疋野長者の日置氏、菊池氏、大野氏の荘園として産業が興り社寺等を造営し、この地方の中心としての基礎づくりができた。当時、高瀬、伊倉の港は一時倭寇の根拠地ともなり、中国大陸や南方向けの貿易港として栄え切支丹もひろがった。

戦国時代は、諸大名争奪の地となり焼土と化したが、加藤清正公入国して治水と干拓に力をいれ、広大な新田をえて当地方は穀倉地帯として人口も増加した。細川54万石の統治下になると肥後の要衝の地として５カ町の一つにかぞえられ文化、経済、商業の中心地として殷賑を極めた。明治10年の西南の役には、戦場の最北端として官軍の本営がおかれ、熾仁親王もとどまられ附近に多くの有名な戦跡が残っている。

明治以後は経済面の開拓が著しく、干拓による米の生産、養蚕業の振興、鉄道の開通とともにしだいに発展してきた。

昭和17年高瀬町と弥富村が合併して玉名町となり、昭和29年４月、玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八嘉村、梅林村、小田村、玉名村、月瀬村、石貫村の12カ町村の合併により市制が施行され、昭和31年南関町の一部三ッ川地区が玉名市に編入された。昭和35年に国道208号線が市中心部を貫通、商店街の近代化に拍車をかけるとともに近代都市としての形態を整えた。

昭和45年、２市８町を包含した有明広域市町村圏の指定をうけ、関連道路の整備、消防組合の設立、コンピューターの導入などの広域行政の推進とともに、県北部における政治経済、教育文化、観光の中心都市として、一段とその飛躍が期待されている。

位　置

極　東	極　西	極　南	極　北
東　経 130°37′47″	東　経 130°30′54″	北　緯 32°50′51″	北　緯 32°59′30″
梅林・奥野地区	滑石・共和地区	大浜・大栄地区	三ッ川・川床地区

◎市役所　東経 130°33′42″　北緯 32°55′30″

土地面積

区分	宅地	田	畑	池沼	山林	原野	雑種地	その他	計
面積㎢	6.00	23.99	14.59	0.08	16.14	1.23	0.71	27.56	90.30
構成比%	6.64	26.57	16.16	0.09	17.87	1.36	0.79	30.52	100.00

〔大浜地先（横島干拓）1.45㎢を含む〕

世帯数・男女別人口の推移

年　次	世帯数	男	女	計
大正9年	5,872	15,083	16,350	31,433
〃 14年	5,605	16,042	16,991	33,033
昭和5年	6,267	16,516	17,926	34,442
〃 10年	6,433	16,769	18,099	34,868
〃 15年	6,180	15,596	18,415	34,011
〃 20年	8,836	21,686	24,261	45,947
〃 25年	8,862	22,101	24,385	46,486
〃 30年	9,501	23,296	25,727	49,023
〃 35年	9,820	22,459	25,277	47,736
〃 40年	10,315	21,221	24,077	45,298
〃 45年	10,611	19,824	22,857	42,681
〃 50年	11,298	20,100	22,737	42,837
昭和54年3月1日	12,259	21,196	23,486	44,682

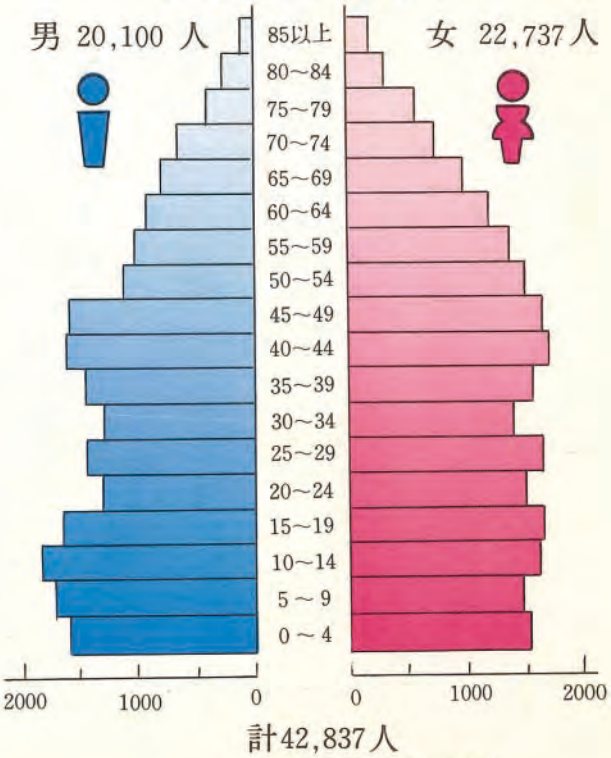
（国勢調査結果
54年は市民課調）

気象の概況 (昭和53年)

区分	気温（℃）				降水量（mm）		
	平年	平均	極最高	極最低	平年	総量	最大日量
1月	5.2	6.1	15.5	−3.5	61	48	15
2月	6.5	5.5	18.0	−5.0	93	43	21
3月	8.6	9.4	19.5	−4.0	74	60	16
4月	14.8	14.8	26.5	3.0	175	125	29
5月	18.9	20.6	30.5	8.0	138	79	42
6月	22.2	25.3	35.0	14.0	378	358	96
7月	26.8	29.9	37.0	23.5	318	21	10
8月	27.7	29.1	35.5	22.0	120	50	15
9月	24.0	25.5	34.5	17.0	184	115	37
10月	18.0	17.6	28.0	4.5	78	41	27
11月	11.9	12.6	22.5	−1.0	59	55	29
12月	7.1	7.7	19.0	−3.5	63	45	22
合計					1,741	1,040	
平均	16.0	17.0			145	87	

（有明消防組合玉名消防署調
平年は岱明地域気象観測所調）

男女別年令別人口



(50年国勢調査)

あゆみ

西歴	年号	事項
840	承和 7	疋野神社建立(阿蘇神社と並ぶ式内社)
1589	天正17	加藤清正、第1期菊池川干拓工事着手
1592	20	加藤清正、軍1万を率い高瀬港より朝鮮遠征(壱岐)へ出帆
1605	慶長10	菊池川干拓工事完成
1874	明治 7	大浜海岸で海苔の海面試験養殖始まる
1877	10	西南の役、戦場最北端の官軍本営がおかれ、熾仁親王とどまる
1878	11	玉名郡役所(郡長)設置 (7町165村生まれる)
1889	22	市町村制の実施 玉名郡42町村 人口123,742人
〃	〃	郡役所高瀬におかれる
1891	24	鹿児島本線開通、高瀬駅(昭和31年玉名駅に改称)できる
1903	36	熊本県立熊本中学校玉名分校開校 明治39年県立玉名中学校となる
1911	44	電話一般通話開始
1912	45	金栗四三氏 第5回オリンピック、ストックホルム大会に参加
〃	〃	熊本県玉名郡立実科高等女学校開校 大正12年県立高瀬高等女学校となる
1914	大正 3	弥富村他4町村に電灯つく
1922	11	高瀬大橋完成(当時県下最長の鉄筋コンクリート橋 長さ320m、巾5.6m)
1925	14	火力発電所運転開始(昭和30年閉鎖)
〃	〃	新穂登免氏、高瀬町に私立玉名実践女学院設立(現玉名女子高等学校)
1935	昭和10	伊倉駅できる
1942	17	高瀬町と弥富村が合併し玉名町となる(2,053世帯、10,251人)
1948	23	玉名中学校と高瀬高等女学校が合併し、県立玉名高等学校となる(旧制玉中を第1部、旧制高瀬高女を第2部、旧町村組合立玉名農業学校を第3部とする別学制総合高等学校)
1952	27	玉名高等学校第3部独立し、県立玉名農業高等学校となる
1954	29	玉名市市制施行(玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八嘉村、梅林村、小田村、玉名村、月瀬村、石貫村の12ケ町村が合併、8,955世帯、46,569人、初代市長 橋本二郎氏)
〃	〃	玉名市外4ケ町村組合立済春病院完成
〃	〃	「玉名市政だより」創刊
〃	〃	玉名市 消防本部設置
1955	30	玉名市歌決まる 塵芥焼却場完成
1956	31	南関町三ッ川地区玉名市に編入
〃	〃	市立養老院静光園開設(現老人ホーム静光園)
〃	〃	第1回市民体育祭開催 玉名市奨学資金制度制定
1957	32	上水道工事着工(昭和34年完成) 第12回県民体育祭開催
1958	33	玉陵中学校開校(錦水中学校と小田中学校合併)
〃	〃	小田小学校開校 玉名市農事放送(有線放送)開始
〃	〃	玉名橋架替工事完成
1959	34	市庁舎落成
〃	〃	西部マラソン30キロ大会玉名市で開かれる(これより玉名市に定着、昭和45年より金栗杯玉名30キロマラソン大会に改称)

西歴	年号	業項
1959	昭和34	国道208号線開通(町部)
1960	35	蛇ケ谷児童遊園地完成 高瀬大橋架替工事完成
〃	〃	第15回国体 玉高で軟式庭球、玉中でレスリング行われる
〃	〃	玉名駅改築
1961	36	大倉団地着工 昭和42年完成 伊倉隣保館開設
〃	〃	玉名平野土地改良区設立 改良事業に着手
1962	37	白石堰改修工事始まる 昭和39年完成
〃	〃	八嘉地区簡易水道完成
〃	〃	玉名市農業協同組合発足(11農協合併)
〃	〃	名誉市民条例制定 金栗四三、新穂登免氏推さる
1963	38	県立玉名工業高等学校開校 新産都市指定 市消防署発足
〃	〃	第1次農業構造改善事業着手 昭和45年完了
1964	39	し尿処理場完成 市営温泉保養センター完成
1965	40	市農協会館完成 商工会館完成
〃	〃	市営大衆浴場完成 鹿児島本線電化
1966	41	有線放送電話開通(全自動ダイヤル式)
1967	42	玉名市民会館完成 菊池川一級河川指定
〃	〃	国道208号線(高瀬大橋一田崎間)全面舗装開通
1968	43	鹿児島本線複線開通(熊本一荒尾間)
1970	45	玉名市「老人憩の家」完成 有明広域市町村圏指定
〃	〃	玉名市交通指導隊発足 玉名市交通公園開設
〃	〃	第2次農業構造改善事業着手 昭和50年完了
〃	〃	一本松団地着工 昭和52年完成
1971	46	小岱山保全林事業始まる 昭和50年完了 巡回文庫誕生
〃	〃	統合玉名中学校発足(玉名町、築山、滑石) 昭和48年校舎完成
1972	47	有明消防組合発足
1973	48	蛇ケ谷公園運動広場完成
〃	〃	公共下水道工事着工 玉名漁港改修事業着工
〃	〃	機構改革により部制を実施(総務部、市民部、開発振興部)
〃	〃	糠峯団地着工 昭和52年完成(分譲完了)
〃	〃	小岱山キャンプ場完成
1974	49	老人ホーム移転
〃	〃	福祉センター、老人福祉センター完成 市民憲章制定
1975	50	松木地区区画整理事業着工
〃	〃	公共下水道終末処理場着工
〃	〃	熊本県有明大牟田工業用水道完成
〃	〃	総合庁舎完成
1976	51	玉名農村検診センター完成
1977	52	小岱山林道開通 第32回県民体育祭開催
〃	〃	故橋本二郎氏名誉市民に推さる
〃	〃	クリーンセンター完成
〃	〃	し尿処理場増設工事完成
1978	53	春出踏切立体交差着工
〃	〃	九州自然歩道小岱山コース完成
〃	〃	国営土地改良事業直轄干拓横島地区公有水面埋立工事完成(市分 1,452,874㎡)
〃	〃	有明中学校発足(大豊中、横島中統合)
〃	〃	身体障害者憩の家開設
〃	〃	新大浜橋利用開始
〃	〃	市政モニター制度発足 声の広報開始

歴代の市長・議長

市　長

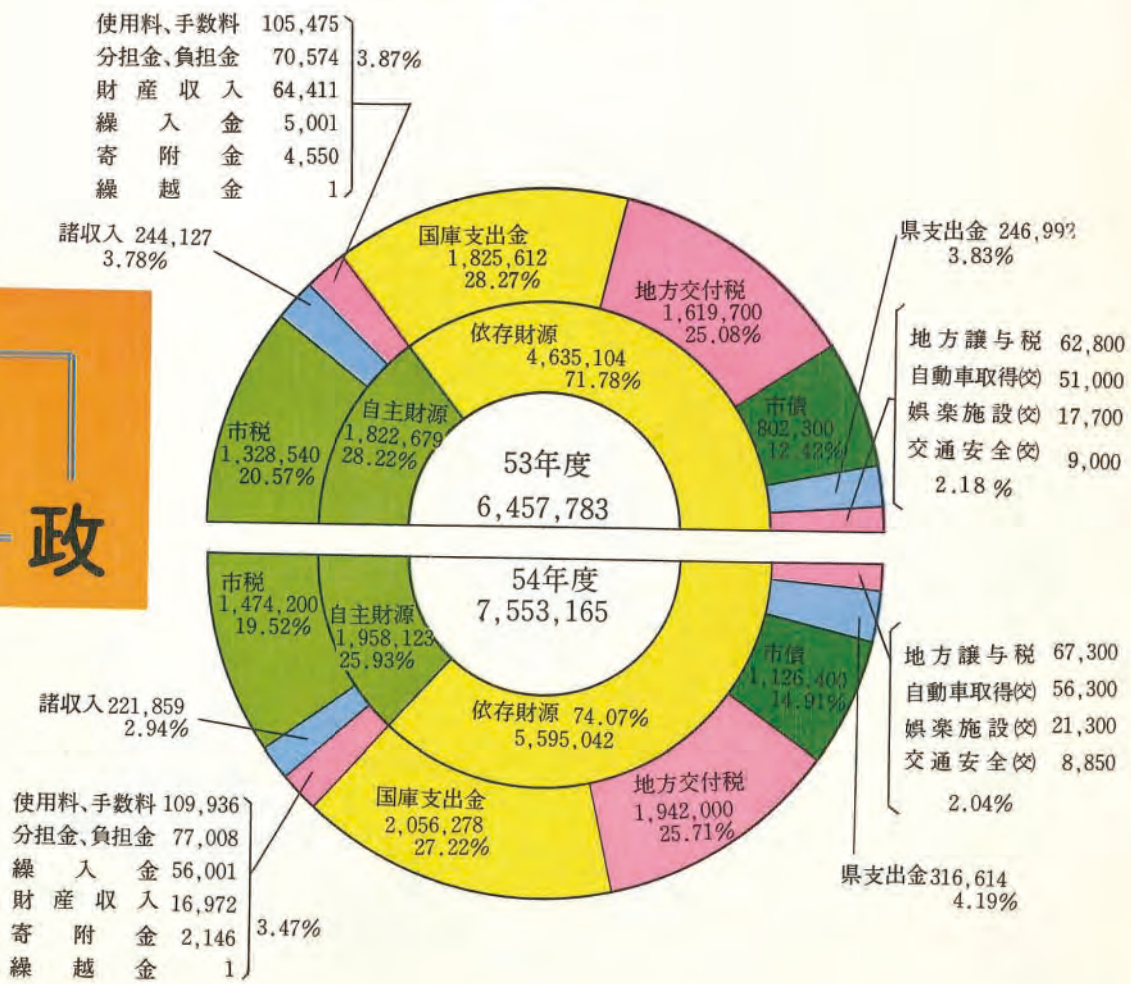
代次	氏　　名	就任年月日	退任年月日
初代	橋本二郎	昭和29年4月27日	昭和33年4月26日
2代	橋本二郎	昭和33年4月27日	昭和37年4月26日
3代	橋本二郎	昭和37年4月27日	昭和41年4月26日
4代	川原弘海	昭和41年4月27日	昭和45年4月26日
5代	橋本二郎	昭和45年4月27日	昭和49年4月26日
6代	橋本二郎	昭和49年4月27日	昭和52年3月14日
7代	川原弘海	昭和52年4月29日	

議　長

代次	氏　　名	就任年月日	退任年月日
初代	猿渡励蔵	昭和29年4月5日	昭和30年2月28日
2代	蔵土義任	昭和30年3月1日	昭和31年10月26日
3代	沼田　一	昭和31年10月27日	昭和34年2月28日
4代	蔵土義任	昭和34年3月5日	昭和36年3月9日
5代	蔵土義任	昭和36年3月10日	昭和38年3月7日
6代	蔵土義任	昭和38年3月8日	昭和40年3月7日
7代	蔵土義任	昭和40年3月10日	昭和41年7月2日
8代	中山新次郎	昭和41年8月29日	昭和45年8月9日
9代	黒田　孝	昭和45年8月19日	昭和49年8月9日
10代	田川正義	昭和49年8月20日	昭和53年8月9日
11代	中山新次郎	昭和53年8月22日	

財政

歳入当初予算前年度比較 (単位:千円)



行政機構

- 市長
  - 収入役
  - 助役
    - 総務部
      - 秘書課 ― 秘書係
      - 企画財政課 ― 企画調整係・財政係・総合文化センター対策室
      - 総務課 ― 行政係・広報統計係・職員係・消防係・交通安全対策室
      - 管財課 ― 管財係・地籍調査係・市民会館係
      - 税務課 ― 庶務係・市民税係・固定資産税係・収納係
      - 会計課 ― 会計係・用度係
    - 行政事務改善委員会事務局
    - 市民部
      - 市民課 ― 市民係・戸籍係・保険係・年金係・市民相談係
      - 衛生課 ― 予防係・環境公害係・清掃第一係(クリーンセンター)
清掃第二係(し尿処理場)
      - 同和対策課 ― 同和対策係・隣保館
      - 福祉事務所 ― 庶務係・保護係・社会係・福祉係・福祉センター
老人福祉センター
      - 静光園老人ホーム
    - 開発部
      - 監理課 ― 監理係・住宅係・用地開発係(開発公社)
      - 土木課 ― 庶務係・土木係・道路維持係・失業対策事業係
      - 都市計画課 ― 都市計画係・建築係・公園緑地係
      - 下水道課 ― 庶務係・計画係
      - 商工観光課 ― 商工係・観光係・温泉保養センター係
      - バイパス対策室
    - 農政部
      - 農業振興課 ― 農政係・農林係・水産係・農業共済係
      - 耕地課 ― 管理係・耕地一係・耕地二係
- 教育委員会
  - 教育長
    - 教育次長
      - 学務課 ― 庶務係・学校教育係・施設係
      - 社会教育課 ― 社会教育係・公民館係・社会体育係
      - 学校給食管理室 ― 第一学校給食共同調理場・第二学校給食共同調理場
- 水道局 ― 庶務係・工務係・給水係
- 監査委員 ― 監査事務局
- 農業委員会 ― 農業委員会事務局 ― 農政係・農地係
- 選挙管理委員会 ― 選挙管理委員会事務局 ― 選挙係
- 市議会 26人
  - 議長
    - 副議長
      - 常任委員会
        - 総務委員会
        - 経済委員会
        - 建設委員会
        - 文教厚生委員会
      - 議会事務局 ― 庶務係・議事係

昭和54年度一般会計当初予算

◎歳　入

	昭和54年度		昭和53年度		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	最終予算額
	千円	%	千円	%	千円
市税	1,474,200	19.52	1,328,540	20.57	1,354,017
地方譲与税	67,300	0.89	62,800	0.97	61,500
娯楽施設利用税交付金	21,300	0.28	17,700	0.28	20,200
自動車取得税交付金	56,300	0.75	51,000	0.79	51,000
地方交付税	1,942,000	25.71	1,619,700	25.08	1,773,623
交通安全対策特別交付金	8,850	0.12	9,000	0.14	9,847
分担金及負担金	77,008	1.02	70,574	1.09	71,663
使用料及手数料	109,936	1.46	105,475	1.63	103,322
国庫支出金	2,056,278	27.22	1,825,612	28.27	1,819,356
県支出金	316,614	4.19	246,992	3.83	272,868
財産収入	16,972	0.22	64,411	1.00	206,630
寄附金	2,146	0.03	4,550	0.07	5,020
繰入金	56,001	0.74	5,001	0.08	1
繰越金	1	0.00	1	0.00	90,315
諸収入	221,859	2.94	244,127	3.78	163,450
市債	1,126,400	14.91	802,300	12.42	835,100
計	7,553,165	100.00	6,457,783	100.00	6,837,912

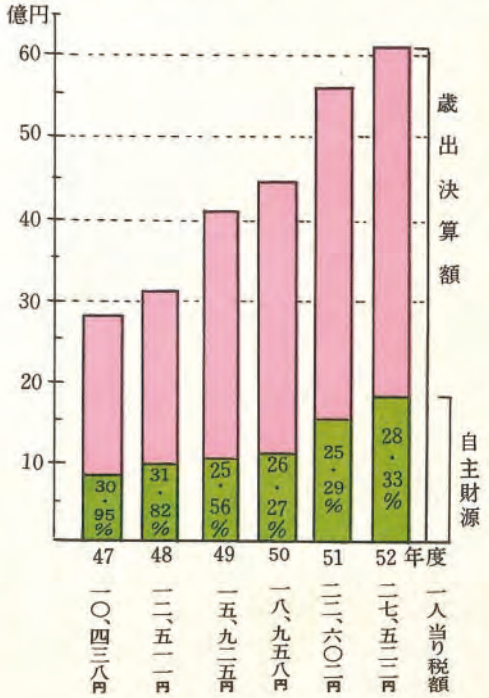
◎歳　出

	昭和54年度		昭和53年度		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	最終予算額
	千円	%	千円	%	千円
議会費	120,553	1.60	114,292	1.77	122,219
総務費	853,528	11.30	810,763	12.56	944,934
民生費	1,830,121	24.23	1,654,090	25.62	1,674,881
衛生費	293,535	3.89	290,170	4.49	279,006
労働費	120,361	1.59	104,581	1.62	106,147
農林水産業費	623,174	8.25	491,675	7.61	550,353
商工費	162,663	2.15	140,185	2.17	144,526
土木費	1,613,575	21.36	1,370,564	21.22	1,301,395
消防費	227,466	3.01	208,573	3.23	217,395
教育費	1,111,765	14.72	786,134	12.17	996,085
災害復旧費	11	0.00	11,110	0.17	21,449
公債費	575,219	7.62	470,645	7.29	464,521
諸支出金	11,194	0.15	1	0.00	10,001
予備費	10,000	0.13	5,000	0.08	5,000
計	7,553,165	100.00	6,457,783	100.00	6,837,912

◎昭和52年度一般会計決算状況

歳入			歳出		
款項	金額	構成比	款項	金額	構成比
	千円	%		千円	%
市税	1,221,064	19.41	議会費	110,420	1.78
地方譲与税	60,149	0.96	総務費	791,306	12.78
娯楽施設利用税交付金	18,198	0.29	民生費	1,517,384	24.50
自動車取得税交付金	48,551	0.77	衛生費	404,642	6.54
地方交付税	1,512,080	24.04	労働費	95,831	1.55
交通安全対策特別交付金	8,648	0.14	農林水産業費	521,441	8.42
分担金及負担金	96,254	1.53	商工費	140,978	2.28
使用料及手数料	91,974	1.46	土木費	1,318,420	21.29
国庫支出金	1,634,015	25.98	消防費	201,402	3.25
県支出金	285,570	4.54	教育費	692,587	11.18
財産収入	25,685	0.41	災害復旧費	30,322	0.49
寄附金	4,374	0.07	公債費	368,050	5.94
繰入金	5,000	0.08	諸支出金	0	-
繰越金	158,149	2.51	予備費	0	-
諸収入	151,816	2.41	合計	6,192,783	100.00
市債	968,300	15.40			
合計	6,289,827	100.00	歳入歳出差引残高	97,044	

◎歳出決算額に占る自主財源と市民1人当りの税負担額

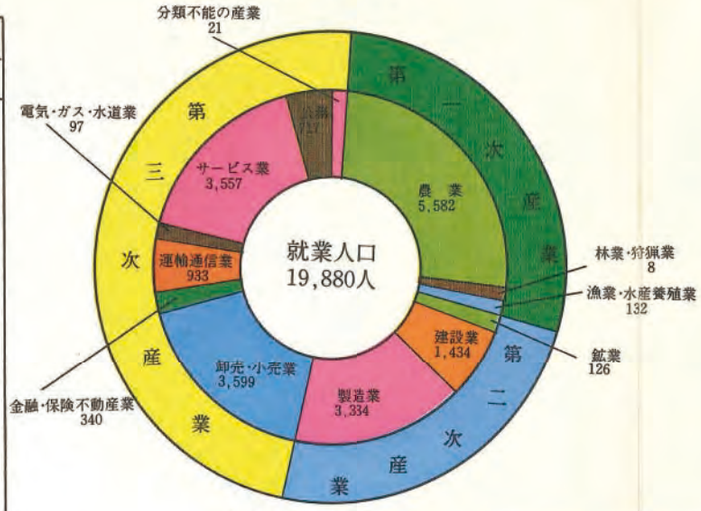


産業別就業人口の推移

産業分類（大分類）	昭和40年		昭和45年		昭和50年	
	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比
	人	%	人	%	人	%
総数	20,212	100.00	20,532	100.00	19,880	100.00
第1次産業	9,437	46.69	8,264	40.25	5,722	28.78
農業	7,132	35.29	8,173	39.81	5,582	28.08
林業・狩猟業	6	0.03	3	0.01	8	0.04
漁業・水産養殖業	2,299	11.37	88	0.43	132	0.66
第2次産業	2,946	14.57	3,542	17.26	4,894	24.61
鉱業	126	0.62	155	0.75	126	0.63
建設業	1,023	5.06	1,024	5.00	1,434	7.21
製造業	1,797	8.89	2,363	11.51	3,334	16.77
第3次産業	7,829	38.74	8,726	42.49	9,264	46.61
卸売業・小売業	2,930	14.50	3,230	15.73	3,599	18.11
金融保険不動産業	278	1.38	292	1.42	340	1.71
運輸通信業	762	3.77	872	4.25	933	4.69
電気・ガス・水道業	103	0.51	97	0.47	97	0.49
サービス業	3,045	15.07	3,491	17.00	3,557	17.89
公務	698	3.45	731	3.56	717	3.61
分類不能の産業	13	0.06	13	0.06	21	0.11

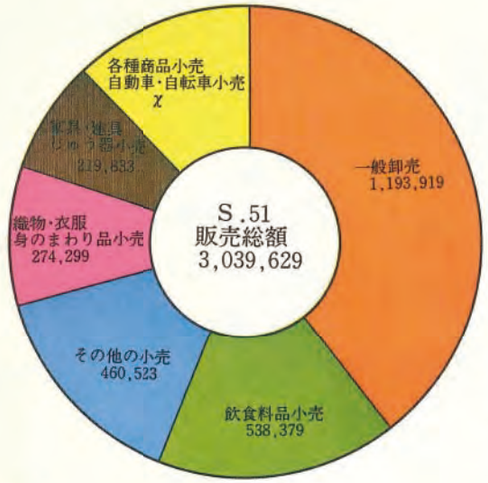
（国勢調査結果）

産業別就業人口



（S50国勢調査）

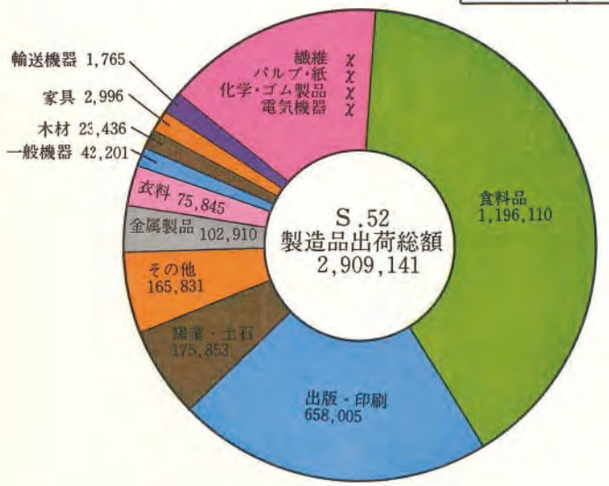
商品販売額 （単位：万円）



商業 （資料：商業統計調査）

区分	商店数	常時従業者数（人）	売場面積（㎡）	年間商品販売額（万円）	修理・サービス・仲立手数料等の収入額（万円）	商品手持額（万円）
41年	751	2,171	18,582	524,836	3,658	47,105
43年	807	2,628	31,532	944,851	5,310	99,747
45年	885	3,029	32,908	1,142,084	13,223	93,326
47年	902	3,067	38,906	1,337,985	21,677	134,543
49年	954	3,126	37,183	1,977,808	29,193	224,527
51年	1,004	3,385	41,146	3,039,629	47,659	304,091
一般卸売	103	585	—	1,193,919	6,925	83,225
各種商品小売	1	χ	χ	χ	—	χ
織物・衣服身のまわり品小売	118	414	7,721	274,299	3,599	65,943
飲食料品小売	418	1,008	12,813	538,379	339	32,033
自動車・自転車小売	47	χ	χ	χ	22,575	χ
家具・建具・じゅう器小売	105	367	6,904	219,833	9,344	33,714
その他の小売	212	754	5,908	460,523	4,877	73,557
飲食店	188	582	—	119,160	—	—

工業出荷額 （単位：万円）



工業 （S.52 工業統計調査）

区分	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額（万円）
総数	130	3,043	2,909,141
食料品	59	986	1,196,110
繊維	2	χ	χ
衣料	7	455	75,845
木材	5	36	23,436
家具	3	8	2,996
パルプ・紙	1	χ	χ
出版・印刷	13	470	658,005
化学	2	χ	χ
ゴム製品	1	χ	χ
窯業・土石	16	311	175,853
金属製品	8	162	102,910
一般機器	3	65	42,201
電気機器	1	χ	χ
輸送機器	4	5	1,765
その他	5	150	165,831

農家戸数と人口 （資料：農業センサス）

年別	農家人口	従業者数	戸数	専業	第1種兼業	第2種兼業
40年	24,101 人	9,779 人	4,672 戸	1,294 戸	1,869 戸	1,509 戸
45年	21,945	9,539	4,564	923	1,812	1,829
50年	19,648	7,020	4,314	511	1,406	2,397

農産物生産高 （S.52年度）

種別	作付面積(ha) 飼養頭羽数	生産量(t)	生産額(百万円)
米	2,320	11,800	3,604
麦類	238	440	44
雑穀豆類	10	12	28
いも類	73	1,414	93
野菜（施設を含む）	229	6,186	717
果樹	593	16,278	1,108
工芸作物	47	185	258
飼料作物	129	129	322
養蚕	98	84	96
肉牛	502頭	91頭	338
乳牛	556〃	1,502〃	193
豚	3,209〃	5,376〃	402
にわとり	126千羽	1,625	553
花木	3.5	70,985本	127

（資料：農業振興課）

経営耕地面積 （資料：農業センサス）

年別	総面積	田	畑	樹園地 等
40年	3,255ha	2,266ha	557ha	432ha
45年	3,336	2,373	397	566
50年	3,139	2,311	303	525

水産物生産高 （S.52年度）

種別	生産量	生産額
海苔	50,533千枚	81,100万円
魚貝類	8,473 t	104,900万円

（資料：農業振興課）

工業の推移 （資料：工業統計調査）

年次	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額（万円）
41年	118	1,439	484,509
42〃	115	1,590	625,402
43〃	111	1,709	737,394
44〃	113	2,008	652,108
45〃	115	2,026	711,254
46〃	116	2,433	827,541
47〃	116	2,452	1,200,759
48〃	122	2,674	1,811,987
49〃	119	2,653	1,979,703
50〃	132	2,843	2,196,589
51〃	127	2,983	2,490,143
52〃	130	3,043	2,909,141

生活環境

公営住宅建設状況

(単位:戸)

年度＼種別	木造 1種	木造 2種	非木造 1種	非木造 2種	合計
45年度まで	60	83	169	152	464
46年度			32	16	48
47年度			30	16	46
48年度			48	32	80
49年度				28	28
50年度			24	56	80
51年度			27	38	65
52年度			22	38	60
計	60	83	352	376	871
払下	19	20	—	—	39
差引計	41	63	352	376	832

(資料:監理課)

市道の概要

(S53年4月1日現在)

総延長(m)		総面積(㎡)(車道部)		舗装状況 舗装延長(m)		舗装状況 舗装面積(車道部㎡)		舗装率 舗装延長(%)		舗装率 舗装面積(車道部%)	
51年度	52年度	51年度	52年度	51年度	52年度	51年度	52年度	51年度	52年度	51年度	52年度
303,516	305,495	1,270,045	1,289,672	187,811	203,810	751,244	815,240	61.88	66.71	59.15	63.21

(資料:土木課)

上水道・簡易水道

区分	上水道 49年度	上水道 50年度	上水道 51年度	上水道 52年度	上水道 53年度	簡易水道 49年度	簡易水道 50年度	簡易水道 51年度	簡易水道 52年度	簡易水道 53年度
給水戸数	4,495	4,855	5,179	5,441	5,716	835	877	947	1,005	1,049
給水人口	16,991	18,109	19,152	20,131	20,806	3,156	3,271	3,504	3,718	3,818
総配水量(㎥)	2,143,898	2,471,402	2,491,618	2,473,623	2,620,961	237,464	260,168	272,725	356,813	378,591
総給水量(㎥)	1,661,521	1,859,205	1,913,103	2,117,658	2,220,544	213,949	242,125	242,579	289,703	317,993
1日平均配水量(㎥)	5,874	6,752	6,826	6,777	7,180	650	710	747	977	1,037
1日平均給水量(㎥)	4,552	5,079	5,241	5,801	6,083	586	661	664	793	871
有収率(%)	77.5	75.2	76.7	85.6	84.7	90.0	93.0	88.9	81.1	83.9

(資料:水道局)

月別給水使用量

(昭和53年度 単位:㎥)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上水道	140,794	160,611	166,734	204,082	193,589	254,799	219,407	198,261	178,441	164,497	176,104	163,225
簡易水道	21,470	22,999	24,286	31,521	28,152	38,358	34,399	25,533	22,717	21,042	24,462	23,054

(資料:水道局)

厚生

医療衛生施設

保健所	病院 施設数	病院 病床数 結核	病院 病床数 伝染病	病院 病床数 一般	病院 病床数 精神病	診療所 施設数	診療所 病床数	歯科診療所	薬局	一般販売業	薬種商	特例販売業
1	4	66	30	55	364	44	393	15	10	5	8	1

(資料:衛生課)

国民年金加入支給状況

年度	加入者数 総数	加入者数 強制	加入者数 任意	支給状況(件) 総数	老齢	障害	母子	遺児	寡婦	支給額	死亡一時金件数	支給額
										千円		円
45	14,319	11,831	2,488	155		39	111	5		15,053	40	344,000
46	13,904	11,774	2,130	343	178	50	110	5		27,288	42	508,000
47	14,365	12,132	2,233	520	345	63	108	4		35,536	31	378,000
48	14,247	11,966	2,281	660	490	62	106	2		100,676	42	545,500
49	13,375	11,667	1,708	1,438	1,243	74	113	1	7	210,700	31	535,500
50	13,255	11,558	1,697	2,113	1,909	87	103	3	11	370,741	31	532,500
51	13,234	11,387	1,847	2,565	2,352	100	94	3	16	509,675	30	640,500
52	13,157	11,266	1,891	2,885	2,673	112	80	3	17	617,110	27	672,000

(資料:市民課)

福祉年金給付状況

(単位 人.千円)

年度	総額 人員	総額 金額	老齢福祉年金 人員	老齢福祉年金 金額	障害福祉年金 人員	障害福祉年金 金額	母子福祉年金 人員	母子福祉年金 金額
45		61,372		49,161		11,755		456
46		74,587		61,735		12,346		506
47		112,769		93,320		18,872		577
48		168,690		142,680		25,650		360
49	3,291	289,780	2,896	239,427	391	49,868	4	485
50	3,103	445,807	2,707	365,742	395	79,868	1	197
51	2,990	483,128	2,576	390,701	412	91,956	2	471
52	2,993	526,944	2,513	423,640	419	103,046	1	258

(資料:市民課)

国民健康保険状況

年度	加入状況 世帯数	加入状況 被保険者数	療養諸費 件数	療養諸費 費用額	療養諸費 保険者負担額	療養諸費 一世帯当り費用額	療養諸費 1人当り費用額	療養諸費 一人当り受診件数	保険税 一世帯当り	保険税 一人当り
		人	件	千円	千円	円	円	件	円	円
45	7,520	27,208	123,220	413,819	288,087	55,029	15,209	4.5	15,426	4,260
46	7,460	26,244	126,376	459,062	323,791	61,536	17,492	4.8	14,565	4,140
47	7,407	25,503	129,379	548,312	390,182	74,026	21,500	5.1	16,523	4,799
48	7,369	24,698	140,683	712,399	496,558	96,675	28,844	5.7	18,010	5,267
49	7,176	23,347	134,107	957,752	668,623	133,466	41,022	5.7	28,102	8,451
50	7,076	22,655	134,178	1,111,229	772,126	157,042	49,050	5.9	41,111	12,656
51	7,119	22,390	137,715	1,327,012	929,039	186,404	59,268	6.2	46,676	14,657
52	7,200	22,307	143,879	1,545,593	1,083,261	214,666	69,287	6.4	51,319	16,330

(資料:市民課)

老人医療費調べ

(資料:福祉事務所)

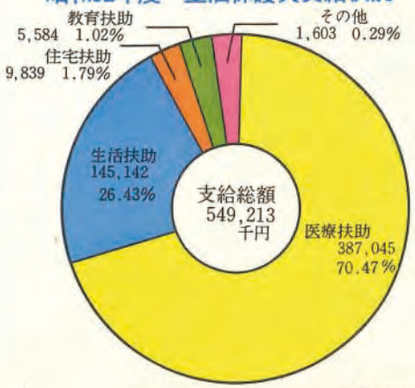
年度	対象者	療養件数	費用	1人当り件数	1件当り費用	1人当り費用
	人	件	千円	件	円	円
48	2,777	28,230	81,040	10.16	2,870	29,182
49	2,811	32,305	124,211	11.49	3,844	44,187
50	2,842	34,803	152,449	12.24	4,380	53,641
51	3,026	37,253	164,355	12.31	4,411	54,313
52	3,216	40,698	200,175	12.65	4,918	62,243

生活保護状況

年度	保護費支給額	1ケ月平均世帯数	1ケ月平均人員	1000人当り	1ケ月1人当り給付額
45	183,690 千円	466	1,016 人	23.0 人	15,066 円
46	227,515	510	1,087	25.5	17,442
47	315,038	553	1,131	26.5	23,212
48	360,477	559	1,105	25.9	27,185
49	454,296	569	1,129	26.5	33,532
50	540,333	548	1,054	24.7	42,720
51	539,900	481	894	20.8	50,326
52	549,213	442	800	18.5	57,209

(資料:福祉事務所)

昭和52年度 生活保護費支給状況



(資料:福祉事務所)

◎学校及び児童生徒数

区分	学校数	教員数	学級数	児童生徒数			公立私立の別
				総数	男	女	
小学校	13	193	131	3,825	1,991	1,834	公立
中学校	4	118	62	2,329	1,237	1,092	〃
高等学校	2	152	58	2,422	1,180	1,242	〃
〃	1	63	22	990	—	990	私立
幼稚園	3	29	22	647	327	320	〃
各種学校	3	5	3	63	—	63	〃
専修学校	1	6	4	41	—	41	〃

(昭和53年5月1日現在)　　(資料:教育委員会)

教育文化

◎社会教育関係団体数・会員数

名称	団体数	会員数
子ども会	78	3,058
スポーツ少年団	4	102
ボーイスカウト	1	48
ガールスカウト	1	30
青年団	12	271
婦人会	13	4,293
PTA	17	4,868
老人会	16	2,412

(資料:教育委員会)

◎文化財の宝庫 ― 玉名地方

市民ゲートボール大会

自然環境に恵まれた玉名地方は、早くも縄文時代中期には人々が定着し、文化が栄えた。そして、縄文、弥生、古墳時代と進むにつれ、生活の場が広まり、大陸と交りをもつようになった。このことがまた、玉名地方の文化財の特長の一つともなっている。

現在、玉名市には、国指定6件、県指定9件、市指定44件の文化財があり、最近の古代史ブームで訪れる人も多い。

保存工事が完成した国指定大坊古墳とその石室内部

玉名市の文化財

◎国指定文化財

No	種別	名称
1	史跡	石貫穴観音横穴
2	〃	石貫ナギノ横穴群
3	〃	大坊古墳
4	重文	紙本墨書広福寺文書
5	〃	大智墨蹟東谷明光除夜偈
6	〃	広福寺伝衣付属状

◎県指定文化財

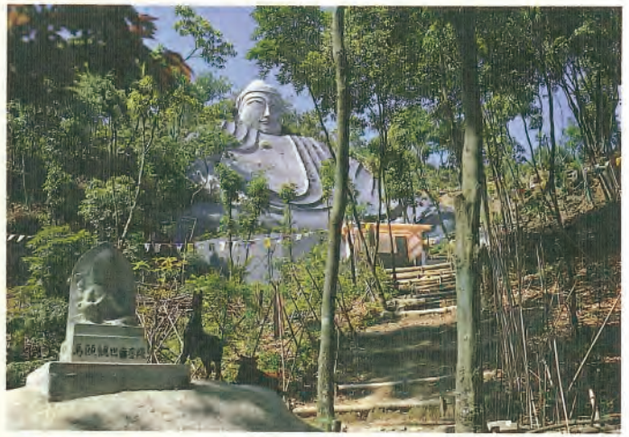
No	種別	名称
1	史跡	永安寺東古墳
2	〃	永安寺西古墳
3	〃	青木磨崖梵字群
4	〃	六反製鉄跡
5	美術工芸	太刀宗広
6	天然記念物	山田の藤
7	〃	伊倉舟つなぎの銀杏
8	重文	大平野寺、小山観音堂関係文書 正法寺絵図
9	建造物	高瀬目鏡橋

◎市指定文化財

No	種別	名称
1	工芸	大浜外島宮蔵廻船模型
2	絵画	〃　絵馬「大浜港」
3	史跡	〃　高麗犬
4	彫刻	聖観世音菩薩木像
5	史跡	吉利支丹墓碑
6	〃	繁根木補陀落渡海碑
7	〃	宇佐公満墓
8	〃	宇佐大宮司公長逆修塔
9	史跡	伊倉保一方地頭沙弥行恵供養塔
10	〃	肥後四位官郭公墓
11	絵画	僧豪潮筆水墨絵座具
12	書跡	僧豪潮筆紺紙金泥仏説阿弥陀経
13	工芸	小岱焼流釉茶碗
14	〃	小岱焼梅模様四脚盃洗
15	〃	小岱焼竹篦模様筒型水差
16	〃	九州肥後同田貫上野介
17	絵画	僧豪潮画併題文珠菩薩画像
18	書跡	僧豪潮筆六曲屏風
19	工芸	廻船用鍛鉄製錨
20	史跡	僧豪潮建立宝筐印塔
21	工芸	肥後同田貫宗広
22	考古	大坊古墳出土品
25	史跡	玉名郡倉推定地
26	民俗文化財	梅林菅原神社「流鏑馬」
28	書跡	僧豪潮墨跡宝筐印陀羅尼経文
29	考古	浄光寺蓮華院跡出土鎮壇具及び古瓦
30	工芸	伊倉八幡宮麒麟香炉
31	史跡	建長の塔
32	工芸	肥後四位官郭公墓出土青磁
33	天然記念物	伊倉南八幡宮の大樟
34	書跡	紙本墨書大智仏法僧一行書
35	史跡	伝佐山古墳
36	考古	小路古墳付出土品一括
37	彫刻	清源寺釈迦如来坐像、木造多聞天立像
38	〃	清源寺六観音、木像釈迦如来坐像
39	史跡	宝成就寺跡古塔碑群石仏群
40	考古	馬出古墳出土品一括
41	彫刻	脱乾漆造釈迦三尊像
42	〃	木造地蔵菩薩半跏像
43	芸能	築山の花棒踊り
44	天然記念物	伊倉南八幡宮のなぎ
45	民俗文化財	山田白山宮比売神12坊祭礼 記録帳付12坊塔碑
46	史跡	高瀬舟着場跡
47	彫刻	読坂鋳造阿弥陀如来立像

❖蓮華院奥の院

県立公園小岱山の中腹にあり、世界一の大梵鐘(直径2.88m、高さ4.55m、重さ37.5トン)や、登れる五重の塔などがある。小岱山林道を通って行ける。



❖大釈迦像

小岱山南面中腹にあり、ふもとの弘泉寺の住職さんが、世界平和を祈り、仏師さんと家族の協力で完成させたもの。
高さが38.5mあり、仏像では世界一。

❖蛇ケ谷自然公園

玉名温泉街から歩いて10分の所にあり、展望台、遊園地、運動広場(蛇ケ谷グラウンド)などがある。サクラ、ツツジ、イタリアポプラなど1万本が植樹され、市民の格好の憩の場となっている。

❖土産品

焼　　物：小岱焼
郷土玩具：木葉猿
菓　　子：高瀬飴　俵もなか　トンカラリン豆
　　長者饅頭　白鷺ばやし
食 料 品：有明のり　味付のり　蜂蜜
そ の 他：つばき油

❖白石堰

阿蘇を源とする清流菊池川は、県北部一帯を潤し延長72キロにおよび、玉名市で有明海に注いでいる。白石堰はその中流にある灌漑用堰で、昭和39年、県営玉名平野土地改良事業により完成。夏は涼を求める人々でにぎわう。

❖玉名温泉

良質のラジウム泉として知られ、温泉旅館34軒(収容能力2,800人)があり、閑静な雰囲気と、人情味溢れるサービスで、家族連れ、団体旅行などでにぎわっている。

◎主な祭と行事

初　　市……3月3、4日
金栗杯玉名30キロマラソン大会……3月下旬
春の温泉まつり……4月4、5日
伊倉八幡宮春季大祭…4月15日(ねり嫁)
納涼花火大会……8月5日
市民盆踊大会……8月13日
伊倉八幡宮秋季大祭…10月15日(ねり嫁)
繁根木八幡宮大祭……10月28、29日(節頭飾馬)
梅林菅原神社大祭……11月25日(流鏑馬)

市制施行25周年記念「玉　名」
編集　熊本県玉名市役所総務課
発行　〒865　熊本県玉名市繁根木163